

プレスリリース

報道・教育担当 各位

2016/10/20

名古屋学院大学学長 木船久雄



親子で学べる防災講座の開催。

～ 学生考案『おやこ・デ・ひなんすごろくゲーム』の実施 ～

10月23日(日)13時30分～15時30分、津島市生涯学習センターで開催される「親子で学べる防災講座」のワークショップに本学学生がファシリテーターとして参加し、学生考案の『おやこ・デ・ひなんすごろくゲーム』を披露します。すごろくゲームは楽しみながらも防災の意識を高めることができるように工夫されており、今年7月に名古屋市熱田区役所で開催された「乳幼児を持つお父さん・お母さんのための防災講座(熱田区民生子ども課主催のイベント)」でも好評でした。

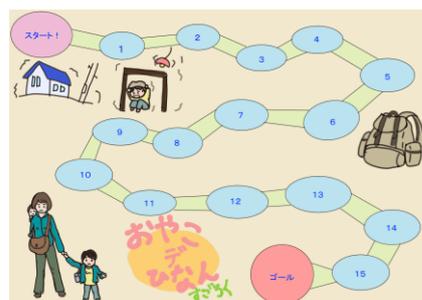
【おやこ・デ・ひなんすごろくゲーム】



災害対応ゲーム「クロスロード」や避難所運営ゲーム「HUG」を参考に、まちづくり演習受講学生が考えたゲームです。小さな子どもを連れての災害対応について、ゲーム感覚で楽しく理解を深めることができるようゲームのゴールや内容を何度も話し合い勉強を重ねて完成させました。自宅から避難した先でどのように過ごすかをグループの協力と合意形成を通じて考えるこのゲームは、参加者から「楽しかった」「思いもよらない意見がきけてよかった」と好評です。

【減災福祉まちづくり学(演習)】

本学の学部・学科共通科目である「減災福祉まちづくり学」「減災福祉まちづくり演習」の講義では、災害史や被災の実態、災害ボランティアの活動や減災に向けた対策などさまざまなテーマを設けてグループワークやディスカッションを行っています。また、熱田区役所・消防署、認定NPO法人レスキューストックヤード、あつた災害ボランティアネットワークなど外部団体の協力を得て避難所体験にも挑戦しています。今回、ファシリテーターを務める商学部2年の瀨瀬(こうけつ)さんは授業を通して防災意識を高める必要性を強く感じており、ワークショップでは「イベントに参加される皆さんに少しでも関心を持っていただければ」と考えています。



<親子で学べる防災講座>

- 開催日時：2016年10月23日(日)13:30～15:30
- 開催場所：津島市生涯学習センター(旧・アイプラザ津島)第2会議室
〒496-0011 愛知県津島市我原町椋木5
- 主催：NPO れんこん村のワクワクネットワーク
- 参加者：ファミリー・サポート・センター提供会員 30名程度
名古屋学院大学学生 2名がファシリテーターとして参加